

日本体育学会第 68 回大会 特別講演

平成 29 年 9 月 8 日（金） 10：30～11：30

グランシップ中ホール大地

（特別講演のみ一般無料開放致します。）

講演要旨

スポーツ庁長官 鈴木 大地

【タイトル】スポーツ庁のビジョンと日本体育学会への期待

平成 29 年 3 月、文部科学省は、スポーツ庁創設後初めてとなる第 2 期「スポーツ基本計画」を策定しました。

この第 2 期計画に掲げられた施策は、「～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports、Enjoy Life～」という理念のもと、国民やスポーツ団体の活動を通じて実現される「スポーツの価値」が最大限発揮されるためのものであることに留意して策定されています。

スポーツ行政を総合的・一体的に推進するために創設されたスポーツ庁の役割は、「スポーツ参画人口」を拡大することだけではなく、他分野との連携・協力により、新たな課題にも取り組む中でスポーツの新たな価値の創造を支援し、それらを高め、豊かな「一億総スポーツ社会」の実現を目指すことにあります。

例えば、スポーツは積極的に社会を変える重要な媒体となり得るものであり、スポーツを通じて障害者、女性、子供、高齢者等の社会参画が促され、周囲の人々の意識改革が図られることで「共生社会」の実現につながっていきます。

また、第 2 期計画では、スポーツを通じた健康増進や地域活性化、国際交流及び協力の拡充、スポーツビジネスの拡大などにも取り組むこととしています。

2020 年東京大会等を好機としてスポーツの価値を飛躍的に高めるとともに、大会後のレガシーとして確実に引き継がれ、持続させるためには、スポーツに関わる全ての人々が一丸となって取り組むことが必要です。

この講演では、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となってスポーツ立国を実現できるよう、第 2 期計画に込められたスポーツ庁のビジョンと施策を解説しながら、日本体育学会を中心に、それぞれの団体に期待される役割についての意見を申し上げます。

【経歴】

競泳選手として 1984 年ロサンゼルス、1988 年ソウル五輪に出場。ソウル五輪では男子 100 メートル背泳ぎで、日本競泳界に 16 年ぶりの金メダルをもたらした。順天堂大学大学院を卒業後、米コロラド大学ボルダー校客員研究員、ハーバード大学のゲストコーチなどで留学を経験。2007 年には順天堂大学で医学博士号取得し、2013 年同大学教授。同年には日本水泳連盟会長、日本オリンピック委員会理事に就任。2015 年 10 月より初代スポーツ庁長官（現職）。